

ふれあい収集の対象を広げました

家庭ごみを自ら出すことが難しいと感じている人の自宅を訪問し、排出をお手伝いする「ふれあい収集」。4月から対象を拡大し、一定等級以上の障害者で構成される世帯も対象となりました。
環境局業務第一課(☎504-2219、☎504-2229)



対象を拡大し、年齢制限を撤廃

ふれあい収集では、家庭ごみを自ら出すことが難しい対象者の自宅を週1回訪問し、玄関先に出してもらったごみ(大型ごみは除く)の収集を行います。

対象者は右記のとおりで、新たに②③④の世帯が対象となりました。また、年齢の制限を無くしました。

声掛けや電話連絡も

希望する人には、ごみが出ていない場合、必要に応じて声掛けを行ったり、あらかじめ届け出てもらった緊急連絡先へ電話連絡を行ったりします。詳しくは、市ホームページで。

対象となる人(世帯)の要件
市内に在住の人(世帯)で、全ての人が次の①～④のいずれかを満たし、ごみ出しに関して、他者からの協力を得ることができない人(世帯)
①要介護1～5の認定を受けている
②身体障害者手帳1～3級を所持している
③精神障害者保健福祉手帳1、2級を所持している
④療育手帳(A、A、B)を所持している



市HP ページ番号 1031711



申し込みはお住まいの地区の環境事業所へ

| 区 | 電話 | 区 | 電話 |
|-----|----------|-----|----------|
| 中・東 | 241-0779 | 安佐南 | 848-3320 |
| | | 安佐北 | 814-7884 |
| 南 | 286-9790 | 安芸 | 884-0322 |
| 西 | 277-6404 | 佐伯 | 922-9211 |



子育ての援助をしませんか

ファミリー・サポート・センターでは、子育ての援助を受けたい人(依頼会員)と、援助を行いたい人(提供会員)を結びつけるお手伝いをしています。提供会員として登録する人を募集します。
同センター事務局(健康科学館内☎246-4455(月)は除く、☎246-9109)

子育て経験を生かせる提供会員

同センターは、子育ての援助を受けたい人(依頼会員)が「保育園に子どもを送迎してほしい」「放課後に子どもを預かってほしい」ときなどに、援助を行いたい人(提供会員)の自宅で子どもを預かるなどして、子育て中の親子を支援する有償のボランティア活動です。

1日の援助活動終了後、依頼会員が提供会員に費用を支払います。

| 活動時間 | 利用料金(1時間) |
|--------------------------|-----------|
| (月)～(金)の7:00～19:00 | 700円 |
| (土)・(日)・(祝)・(休)・上記の時間帯以外 | 900円 |

※2人目からは半額

会員になるには

いずれも市内に住民票がある人が対象です。現在、提供会員に登録する人を募集しています。

インタビュー

お子さんからパワーをもらってます

提供会員に登録して13年になる西本昌子さん(66)。「先日は、兄弟を育てるママが普段思い切り甘えられないお兄ちゃんとの時間



をつくりたいとのことで、下の子を預かりました。終了時、帰ってきたお兄ちゃんの大満足の表情と下の子の笑顔に、ああ良かったなど。お子さんたちからいつもパワーをもらってます」と笑顔で話します。

提供会員の登録

【対象】心身ともに健康な20歳以上の人で、子育ての援助活動に理解と熱意があり、講習(下記)を受講した人

両方会員の登録

現在、依頼会員の人も、講習を受講すると、援助を行うこともできる両方会員になれます。

※依頼会員の登録については同事務局(上記)かお住まいの区の地域子育て支援センター(中区は除く)へ(右二次元コード)

提供会員登録講習会(全4回)

| 日程 | 時間 | 内容 |
|------|-------|--------------|
| 6/3 | 9:30 | ●子どもの世話と保育の心 |
| ～ | ～ | ●小児看護の基礎知識 |
| 6/24 | 16:30 | ●安全と事故防止 |
| の(水) | ～ | ●栄養と食生活 |
| | | ●子どもの遊び など |

【会場】健康科学館

【申し込み】電話で、5月27日(水)までに、同館(☎246-9100)へ

市HP ページ番号 1038890



旧逋信病院外来棟を平和資料館に

被爆建物である「旧広島逋信病院外来棟」(中区東白島町)。市は、その一室を平和資料館としてリニューアルし、5月から一般公開します。
平和推進課(☎504-2900、☎504-2986)

被爆の惨状や当時の救護活動を伝える

1935(昭和10)年に開設された同病院は、爆心地から北東約1.4kmにあり、全壊全焼を免れ、被爆した人たちの救護活動の拠点となりました。

市は、2018(平成30)年に日本郵政か

ら譲渡された外来棟を、被爆前後の病院の状況に焦点を当てた展示とするため、リニューアルを行ってきました。

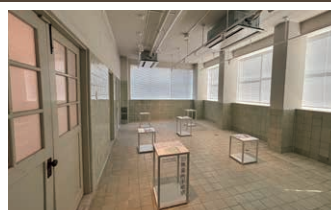
負傷者の治療に当たった医師などの活動を分かりやすく展示するほか、当時の状況を映像で紹介します。

詳しくは、市ホームページで。

市HP ページ番号 1015042



主な展示内容



旧無菌的手術室、旧消毒室
被爆当時のタイルが残され、竣工当時の雰囲気が再現されている



映像シアター
写真や関係者の証言、建物の3D映像を視聴者が院内にいる感覚となるよう3面スクリーンで投影



未曾有の惨状-原子爆弾症-
被爆直後の救護活動の状況について、当日から治療にあたった医師らに焦点を当て、写真や日記、臨床記録などで伝える

第4次男女共同参画基本計画を策定

市は、性別による差別がなく、男女が対等のパートナーとして責任を分かち合い、個性や能力を十分に発揮できる社会を実現することを目的として、「第4次広島市男女共同参画基本計画」を策定しました。
男女共同参画課(☎504-2108、☎504-2609)

社会情勢の変化に対応した取り組み

少子高齢化により労働人口が減少する中、性別に関係なく働きたい人が、その個性と能力を十分に発揮できる環境の整備が求められています。

また、自然災害が激甚化・頻発化しており、災害発生時には、女性や

子どもなどが災害弱者となりやすく、男女共同参画の視点による防災・復興対策が重要になっています。

同計画により、さまざまな課題などに対応した取り組みを進めます。

【計画期間】令和8(2026)年度～令和12(2030)年度の5年間

詳しくは市ホームページで。

市HP ページ番号 1049309



広島広域都市圏
はっしー漫遊記 150
わがまち 今昔物語
市は「200万人広島都市圏構想」の実現に向け、近隣33市町と連携・交流を進めています。
広島広域都市圏 検索

吉賀町 町名の由来「八久呂鹿」の伝説



飛鳥時代の終わり頃、筑紫の国(現在の福岡県辺り)から、「八久呂鹿」と呼ばれる悪い鹿が来襲し、人々を悩ませていました。その姿は、足が8本、角が8又、体を覆う赤毛は1尺余り。里の民を守るため、天皇を護衛する武士が鹿を退治し、民たちはこの鹿を奇鹿神社(写真)に祭りました。以来、この地は、悪い鹿が良い鹿になるように、「よいしか」から「よしか」と呼ばれるようになったということです。この伝説は、神楽の演目「八久呂鹿」としても継承されています。

私が紹介します!



「やくろ鹿伝説」の本を手に吉賀町企画課 秋山一平さん